

緊急事態宣言に伴う対応について

新型コロナウイルス危機をともに克服していくための「公共メディア・NHKの行動指針」に従い、新たに以下の措置をとり、感染拡大の防止につなげてまいります。

<番組収録、外部の出演者の対応について>

東京のNHK放送センターをはじめ、緊急事態宣言の対象とされた7都府県にある大阪拠点放送局など各放送局の番組収録や生出演においては、感染予防を徹底するため、ニュースなど緊急性・必要性の高い番組を除き、外部の出演者におこしいただく形での収録を当面、見合わせます。準備が整った番組から随時、対応します。また、緊急事態宣言の対象となった都府県を中心に、外出を伴うロケ、中継、収録についても、必要性を慎重に検討しながら、可能な限り見合わせます。

<ドラマ番組の対応について>

大河ドラマ「麒麟がくる」と連続テレビ小説「エール」の収録を4月12日まで見合わせることを発表しましたが、収録を休止する期間をさらに延長します。

また、大阪拠点放送局制作の連続テレビ小説「おちょやん」も、制作を開始していましたが、本日（7日）以降、収録を見合わせます。なお、現時点でドラマ番組の関係者に、感染の疑いのある人は出ていません。収録の再開は状況を見ながら判断してまいります。直ちに放送が休止することにはなりません。今後の放送予定については、番組表や番組のホームページ等で適宜、お知らせいたします。

NHKは、上記の措置を取りつつ、3月24日に公表した「新型コロナウイルス危機をともに克服しよう～公共メディア・NHKの行動指針」でお示したように、引き続き視聴者・国民の皆様にとって真に役立つ放送・サービスを提供してまいります。

以上